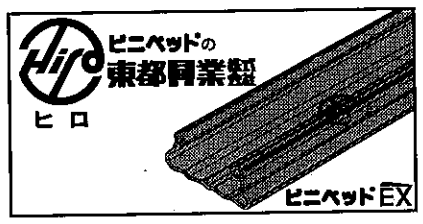


平成30年
5月7日
（月曜日）
第1311号

園芸新聞®

発行所
株式会社園芸新聞社
〒180−0001 武蔵野市
吉祥寺北町4−7−13
電話 0422(51)8953
FAX 0422(55)7187
発行人 前田彰宏
購読料 1カ年5,400円
振替 00130−2−85300

草勢が強く生育が旺盛な「恋みのり」

農研機構 九州・沖縄農業研究センター開発

労働負荷大幅に軽減へ

作業性重視のイチゴ「恋みのり」

実が硬くて食味もよい

西南暖地中心に栽培伸びる

「好きな果物はなんですか?」という調査が行われると、ほぼ1位になるのがイチゴで老若男女に人気がある。近年は競うようにオリジナル品種を開発投入して、現在は約50品種が流通しており市場は活況を呈しているが、関東、東海、九州などの産地間競争も厳しさを増している。

その一方で、イチゴの繁殖イチゴや、労力を軽減するイチゴが開発されてきている。

そのひとつが農研機構の九州・沖縄農業研究センターが省力化をキーワードに開発して昨年登場した「恋みのり」である。大粒で多収性の早生系統「03042−08」を母親に、食味に優れる「熊研い548」（ひのしずく）を父親としている。

通常行われる摘果作業や下葉かき、無駄なランナーを取る作業が大幅に軽減できる。そして大果で収量性が高く、収穫や調製作業も省力化できることが大きな特徴となっており、大規模経営化やいった声が届いている。

担い手不足に対応できる品種として注目を集めている。

昨年の春から熊本、大分など九州を中心に栽培が始まっており、「大玉で作業性が良い、連続出雷性があり多収となる、実が硬くて日持ちする」と

○果実の揃いに優れ秀品率が高いことから、収穫・調製作業が大幅に省力化できる。

○大粒でイチゴ単価の高い2月末までの収量性が優れた収益性の良い品種。

○果実が適度に硬いため傷みにくく、長距離の輸送性にも優れている。

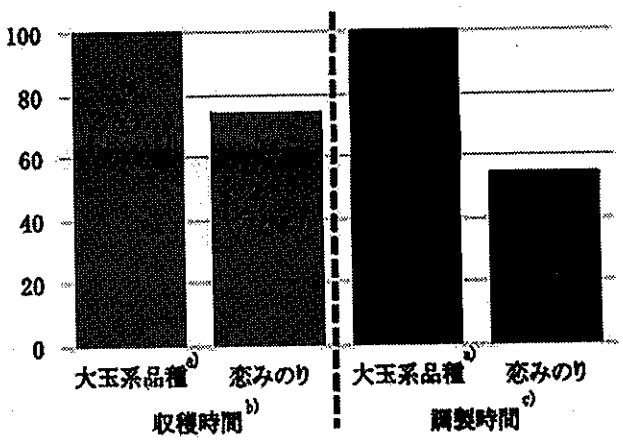
○色は鮮やかな淡赤色～赤色。香りが強く、糖度および酸度は比較的安定しており、食味は良好。

○草勢が強く冬でも生育が旺盛。花数が多過ぎず、また果房の伸びがよく果実が見つけやすいため、収穫作業の省力化が可能である。さらに、大粒で形状の揃いが良いため、調製作業が大幅に軽減できる。

○促成栽培では11月下旬から収穫可能で、単価が高い2月末までの収量が多くなる。

○収益性の高い2L以上の大玉率が高く、収穫最盛期における大玉率は8割以上。

○うどんこ病に対しては中程度の抵抗性を有するが、萎黄病および炭疽病に対しては罹病性であるため、健全な親株から増殖を行うとともに、育苗期を含め予防的な防除が必要。



「恋みのり」の1kg当たりの収穫調整作業の省力化効果

2016年3月上旬～下旬の収穫最盛期における計4回収穫した未調製果実（各回8～32kg）を用いた

連続出蕾性あり多収

輸送性についても実証

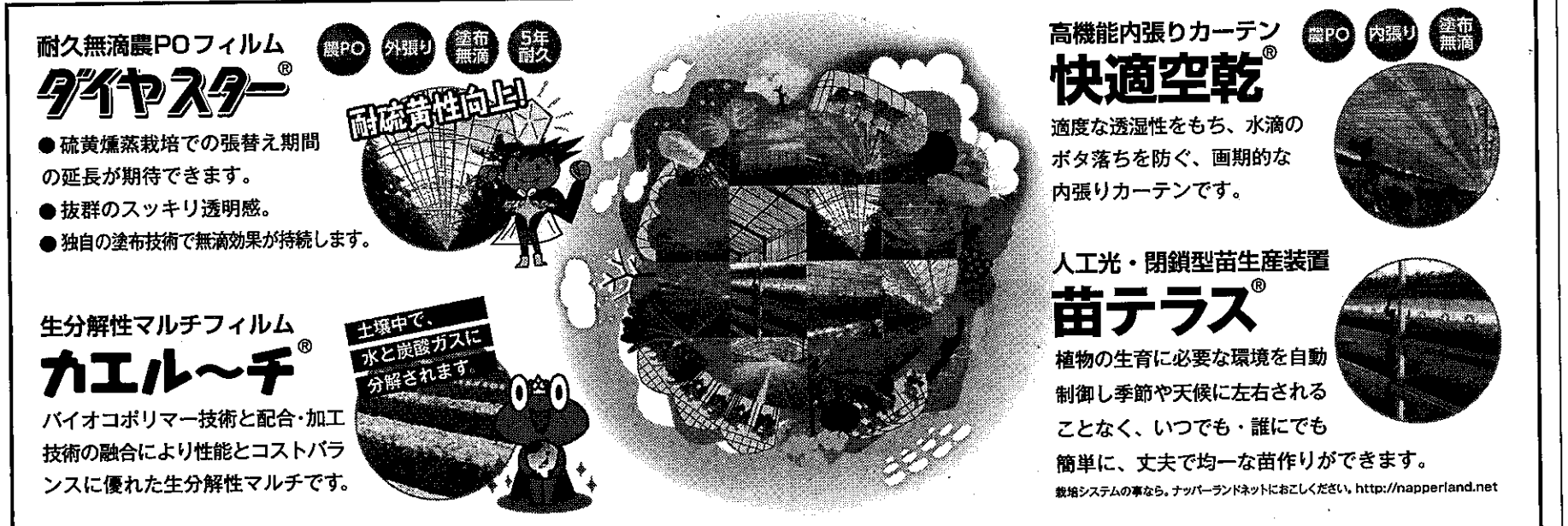
また、「恋みのり」は輸出も視野に入れている。航空便だけではなく船便による輸出も可能で、約2週間高い品質を保持したまま台湾、香港、タイ、シンガポールなどの東南アジアに輸送出来ることが実証されている。

苗は各業者から販売されるが、苗販売大手の三好アグリテック（山梨県北杜市小淵沢町）でも2018年秋親苗からの本格販売を予定している。親苗は560円（秋苗／送料税別）で、許諾料は苗代込、契約書締結は不要である。（実取り苗の扱いは無し）

「恋みのり」の特徴は次の通りである。

6月1日定時総会

日本施設園芸協会

日本施設園芸協会は6月1日に平成30年度定時会員総会を開催する。事業報告、決算、事業計画等について審議をし、総会終了後は懇親会を行う。

日時 6月1日（金）15時～17時
場所 KKRホテル東京 孔雀（東京都千代田区大手町1−1−4）
議題 第1号議案・29年度事業報告について、2号議案・29年度決算について、3号議案・30年度事業計画について、5号議案・会費・賛助費の額及びその徴収方法、6号議案・役員の選任について。